

## 『ウルトラジュニアサッカー大会(2・1年生大会)競技規則細則』

### 1. 競技規則

- (1) 時間
  - ・8分－1分－8分とする。
- (2) 人数
  - ・ゴールキーパー1名、フィールドプレーヤー4名の5人制で行う。
  - ・3名に満たないチームは不戦敗とする。
- (3) 交代
  - ・自由な交代とする。
  - ・インプレー、アウトオブプレーに関わらず、交代ゾーンからいつでも交代できる。但し、交代する競技者がピッチを出てから交代要員の競技者が入ること。違反した場合は
    - ①プレーを停止する。
    - ②交代する競技者をピッチの外に出す。
    - ③交代要員に警告を与える。
    - ④試合を停止した時にボールがあった場所から、相手チームの間接フリーキックで再開する。以上の手順で対処する。
- (4) 交代用具
  - ・試合球は検定4号球(両チーム持ち寄り)とする。
  - ・キーパーはフィールドプレーヤーと違う色のユニフォームを用意する。(ビブス可)
  - ・スパイクは禁止する。(アップシューズ等)
- (5) キックオフ
  - ・キックオフからの直接のゴールインは得点と認めない。
  - ・直接ゴールインした場合には、ゴールスロー(手で投げる)で再開する。
- (6) フリーキック(直接・間接)
  - ・相手競技者は5m以上離れなければならない。
  - ・ペナルティーエリア内の間接フリーキックは、最も近いペナルティーエリアのライン上から行う。
  - ・スライディングタックルは禁止とする。違反した場合は相手側に直接フリーキックが与えられる。
- (7) キックイン
  - ・ボールがタッチラインを割った場合は、相手チームのキックインで再開する。
  - ・キックインからの直接ゴールインは認めない。ゴールインした場合は相手チームのゴールスローで再開する。
  - ・キックインの際の助走は1歩(1m)までとする。
- (8) ゴールキック
  - ・攻撃側がゴールラインからボールを出した場合は、ペナルティーエリア内からボールを手で投げ再開する。
  - ・ゴールスローからの直接のゴールインは得点と認める。
- (9) ゴールキーパー
  - ・ゴールキーパーが保持したボールは手で投げること。
  - ・パントキックは禁止とする。
  - ・ゴールキーパーのキーパーズローからの直接のゴールインは得点と認める。
  - ・ゴールキーパーのキーパーズローがハーフラインを越えても良い
  - ・味方からのバックパスを手で扱った場合は相手側に間接フリーキックが与えられる。

- (10) コーナーキック
  - ・コーナキックはコーナーエリア内にボールを置いて行う。
  - ・その再、相手競技者は5m以上離れなければならない。
- (11) PK戦
  - ・3人制で行う。3人で決しない場合はVゴール方式とする。
- (12) その他
  - ・オフサイドルールは適用しない。
  - ・審判は2人制とし、1名の主審により試合が運営され、副審がクロスサイドを行う。
  - ・反則と不正行為は2018/2019年の日本サッカー協会の競技規則に準ずる。
  - ・ファールや不正行為で競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中なら競技者を補充することが出来る。

## 2. 競技場